

## 自立活動

いろいろな  
始まりと終わりが  
あることを知ろう

私たちは日々安定した生活をしようとしています。  
朝起きる、着替える、食事をする、日中活動をするなど。  
これら一つ一つの活動には、全て「始まり」と「終わり」があります。こうした小さな始まりと終わりの繰り返しで、一日の生活が成り立っています。

ただ、この小さな始まりと終わりを理解することが難しいために、不安になる子どもたちも多いと思います。

それは、「活動を提示されたら」「声を掛けられたら」「ある時刻がきたら」「全部済ましたら」「終わりを告げられたら」「終了時刻がきたら」など、始まり方や終わり方にはたくさんのパターンがあるからです。

何をするのかを分かりやすく伝えることはとても大切ですが、あわせて、行う活動の始まりと終わりを分かりやすく伝えることも安定した生活につながると思います。

始まり

終わり

どうぞ

いただきます！

ごちそう  
さまでした！

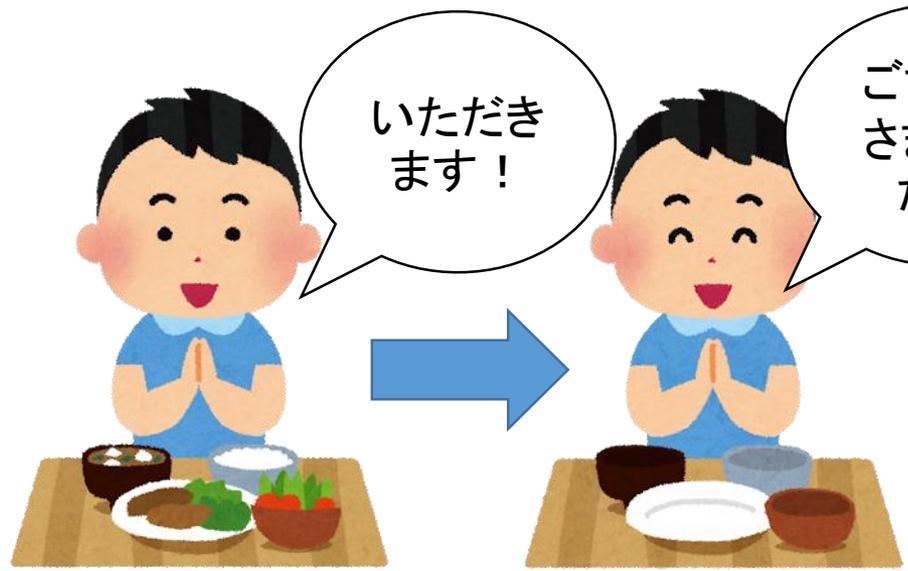
終わりだね！

食事

はじまるよ

言葉を添えましょう

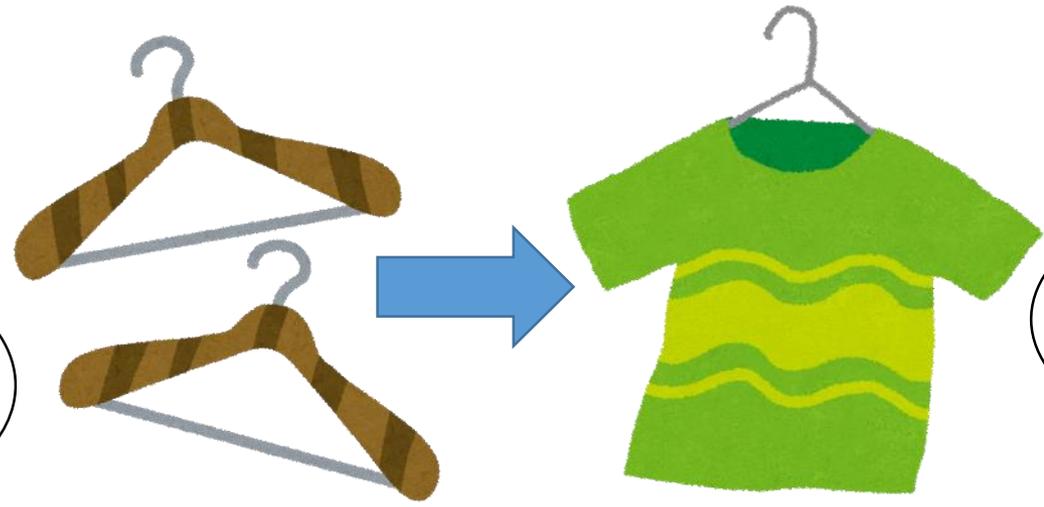
テレビ



始まり

終わり

お手伝い  
してね



洗濯のお手伝い

終わりだね！

終わりだ  
よ！

おもちゃで  
あそぼう

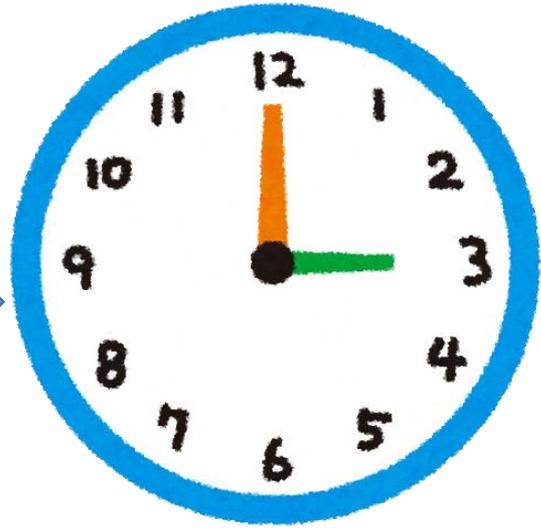


おもちゃあそび

言葉を添えましょう

始まり

終わり



べんきょう

べんきょうの  
時間だよ

終わりだ  
ね！



着替えよ  
うね

言葉を添えましょう



着替え

生活の中でのいろいろな活動の始まりと終わりの場面で、言葉を添えていきましょう。

### 【評価のポイント】

繰り返す中で、活動や添えた言葉に合わせて、活動を始めたり、行っていた活動を終えたりする様子が見られてきたら、始まりと終わりの理解が高まってきた表れです。

また繰り返す中で、添えていた言葉を意図的に抜いてみます。そのとき、自分から始めたり終わったりする様子が見られたら、始まりと終わりの理解がさらに高まってきた表れです。

※あそびの終了合図は除きましょう。